



総合教育センターだより

BE Connected



センターマスコット センタ君

平成24年11月16日(金)
第44号(通算第127号)
京都府総合教育センター
TEL: 075-612-3266



平成24年度4月~9月の教育相談実施状況から



総合教育センターでは、電話・メール・来所・巡回の4つの形態で教育相談を実施しています。平成24年度4月~9月の期間中、電話相談では1400件以上、メール相談では200通以上の相談が寄せられました。来所相談では、センター（伏見区）と北部研修所（綾部市）で専門のカウンセラーや精神科医が約700件の相談に応じました。巡回相談では、各教育局等へ月1回程度訪問して100件近い教育相談を行いました。

不登校に関わる相談が大半



不登校の状況

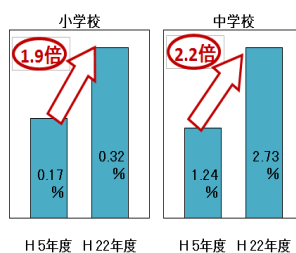
センターの教育相談では不登校の相談が大半を占めています。不登校の背景には、家庭環境が不安定な中で保護者と子ども間のコミュニケーション不全が生じているケースが多く見られます。

小学生では、発達障害等への対応に関する相談が増加し、中学生では家庭内暴力、反社会的行動やリストカット等の自傷行為が関係する事例もありました。

そのほか過去のいじめ・虐待が窺われるケースも見られました。

文部科学省の調査によると、平成22年度の不登校児童生徒の割合は平成5年度に比較すると小・中学校とも2倍程度に増加しています。また、平成23年度の校種別の不登校児童生徒の割合は、小学校0.3%、中学校2.6%、高等学校1.7%となっています。

不登校児童生徒の割合(文部科学省調査)



教育相談から見えてくること

① 友達関係



・「誰からも友達として選ばれていない」と一人になることを恐れるあまり、親密な友達にも過剰に気を遣う子どもが多いようです。

・友人同士でネットを用いてコミュニケーションをする機会が増え、教職員から見えにくいところで友達関係が変化していることがあります。

② 親子関係

・一人で子育てに悩む母親からの相談が多くありました。
・小学生を持つ母親からは「子育てのストレスや不安」、「子どものしつけ」、中学生を持つ母親からは「思春期の子どもとの向き合い方」、高校生をもつ母親からは「進路変更」、「不登校への対応」についての相談が多く寄せられました。

学校での対応のポイント

その1

・子ども達の問題は不登校という形で表面化することが多いですが、問題の背後に隠された「本当の訴え」を十分に聴き取り、理解しようとする姿勢が大切です。

その2

・子ども達のところに足を運び、会って話すという直接的な関わりに努めることが大切です。

その3

・保護者の不安の理解に努めるとともに、事例によっては校内でのチーム対応や専門機関との連携を図ることが大切です。

その4

・常に子どもの人間関係の変化に注意を向けておく必要があります。

※不登校指導に関わっては、「別室登校研究」もご参照ください。センターホームページ(ITEC)のトップページの右のバナーをクリックするとアクセスできます。



講座報告



教職員の人権意識の高揚を！ 人権教育講座 II (10月19日 北部研修所)

昨年度末に作成された人権学習実践事例集（小学校編）協力校、5校に取組内容を発表していただきました。午後からは関西大学石元清英教授の



同和問題に関わる講義の後、校内人権研修の充実に向けて、グループ協議しポスターセッションを通して、気付きを交流し合い学びを深めました。

感想

・各学校の具体的な取組がとても参考になりました。人権教育は全ての教育活動を支えるものであり、日々子どもへの接し方を丁寧に見直すと、今まで気付かなかった問題が見えてくると思います。自校での課題もはっきりしてきたように思います。



・3学期の校内研修で生徒の変容についてポスターセッションを使って交流できたと思った。他校との取組の交流は、自校の校内研修を進める上で大変参考になった。

裏千家 茶道に学ぶ！

京の教育「みやび」講座

(10月11、18、19日 裏千家今日庵)



歴史と伝統にはぐくまれた京都の知恵をつなぎ、自然、人、社会とつながる次世代の人材を育てることは私たちの使命です。今回、裏千家今日庵のご協力を得て、247名の参加のもと、日本の文化を教育活動につなぐ視点を学ぶ講座を実施しました。

感想

・新学習指導要領に伝統文化の重要性があげられているので、ぜひ生徒たちにも校外学習などで学ばせたい。
・「おもてなし」を通して他者への気遣い、思いやりの大切さを生徒にも伝えたい。

ワクワク おもしろ 学び教室

平成24年度 手作り府民講座
平成25年1月19日(土)

みんなて学ぼう
みんなて体験しよう



まな 学びのコーナー

- ・「ことば」で遊ぼう
- ・「数字」で遊ぼう
- ・Let's speak English!
- ・「かがく」で遊ぼう
- ・パソコンで遊ぼう
- ・手話で歌おう
- ・歴史を楽しもう

たいけん 体験のコーナー

- ・民俗文化体験
- ・本とふれあう
- ・茶道体験
- ・「ふしぎ」体験
- ・点字でしおり
- ・エコバッグ
- ・手作り人形

オープンク

- ・音楽を楽しもう！
- ・みんなて歌おう！

てんじ 展示のコーナー

- ・特別支援学校作品
- ・教科書
- ・子どものための本

日時：平成25年1月19日(土)
午後1時から 午後4時
対象：小学校・特別支援学校小学部の児童及び保護者
会場：京都府総合教育センター

申し込み・詳細
京都府総合教育センター
ホームページをご覧ください。

後援：京都府教育委員会・京都新聞社

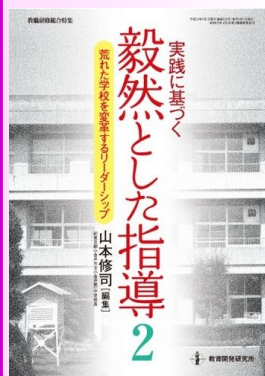
人材育成支援室より お薦めの一冊



「実践に基づく毅然とした指導1・2」

山本 修司 編集 教育開発研究所

児童・生徒の問題行動に苦慮されている先生にとって役立つ本です。暴力事例・学級崩壊・いじめ・授業規律・保護者対応・性に関わる事例・部活動事例・行政との連携など全国の実践で成功した例が沢山載っています。



また、生徒を変容させる学校経営の事例など生徒指導で悩んでおられる初任者の先生から管理職の先生まで役に立つ本です。

ぜひ読んで日頃の不安を解消してください。(K.Y)